

## ひょうごフィールドパビリオン

○プレミア・プログラム(R05.03.28時点)の選定について

## ■プレミア・プログラムの認定基準

『各地域の風土・文化との親和性』や『事業の持続可能性』の観点から、**地域の核**となると考えられるもの（募集要項より）

## 今回、選定したプレミア・プログラム

全5件

< 摂津 >

尼崎運河クルーズツアー

< 播磨 >

新発見！デザイナー tamaki niime による播州織のものづくり体験

< 但馬 >

自然エネルギーを活用した「湯がき体験」

< 丹波 >

「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる

< 淡路 >

沼島おのころクルーズ

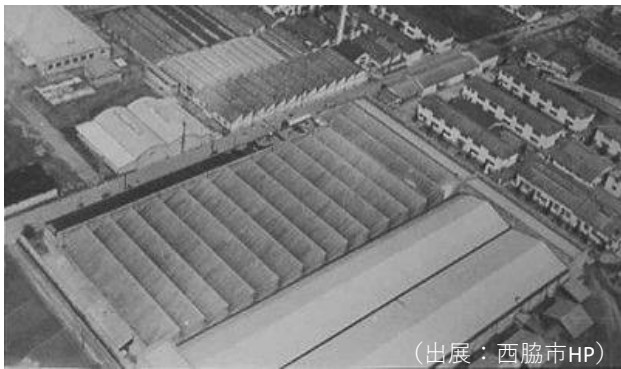


## 尼崎運河クルーズツアー（摂津）

### Cruise in Amagasaki Canal

- 阪神工業地帯の中核の一つとして高度経済成長を支えてきた尼崎。一時は公害問題等に悩まされたが、環境への関心が高まる中、企業等の努力により、現在は海洋生物資源に恵まれた豊かな海域を有する地域へと変化を遂げた。
- この経済成長を支えたのが尼崎運河。その入口にある「尼ロック」こと尼崎閘門は、パナマ運河方式として日本で最初に建設され、現在でも国内最大級の閘門であり、災害からまちを守る工夫を乗船して体験できるのは、ここでしかできない。
- 近年では、豊かな海がもたらす余剰釣果を子ども食堂に配布する「フィッシュシェアリング」などの取組も行われている。海洋資源を効果的に利用するシステムは、独自性が高く、「新たな循環型社会」への視座を与える。





(出展：西脇市HP)

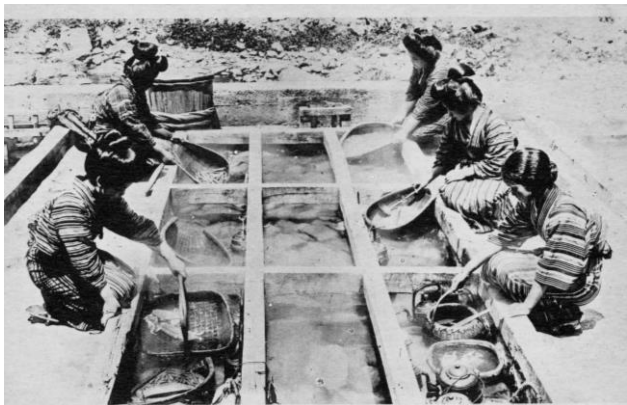


## 新発見！デザイナーtamaki niimeによる 播州織のものづくり体験（播磨） New Banshu-ori Textile produced by a designer, Tamaki Niime

- 世界の有名ブランドに生地素材を提供してきた北播磨地域の播州織は、他のアジア諸国に生産拠点が移行し、活力が失われてきたが、大量生産から小ロット多品種化、最終製品生産の高付加価値化への転換を進めてきた。
- 玉木新雌氏はその第一人者。新しい時代の女性像を創り出し、自ら体現していくとの思いでブランドを立ち上げ、現在では、綿花の栽培から、デザイン、機織り、製品化、販売まで一貫生産し、一点モノのモノづくりで世界展開を図っている。
- 更に、<sup>はぎれ</sup>廃工場のリノベーションや端布を糸に再生する「<sup>はんもろ</sup>反毛」など、古いものを新しい価値に展開し、サステイナブルな地域づくりの視座を与える。







## 自然エネルギーを活用した 「湯がき体験」 (但馬) Blanching in hot spring water

- 湯村温泉では、1200年前の開湯以来、98℃、4700l/分の豊富な温泉を利用し、入浴だけでなく、山菜などを湯に浸けて調理する「湯がき」が行われてきた。
- ここでは温泉文化が家庭の暮らしまで行き届き、現在では、湯がきだけでなく、含有される重曹を活用した洗濯や高温の温泉を活用した旅館の暖房等に活用されるなど、「生まれてから温泉三昧」の生活文化は進化を続けている。
- こうした取組は、温泉と水との温度差を利用した発電など、地域全体で温泉を最大限活用する新しいチャレンジにもつながっており、CO<sub>2</sub>を排出しない環境に優しい取組への視座を与える。





## 「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる (丹波) Visiting the village of Tamba ware, one of ceramic ware that began in old times

- 日本遺産・六古窯の一つである丹波焼は、茶褐色の土肌と素朴な風合いが特徴。世界恐慌等で厳しい時期を迎えたが、民芸運動の中でバーナード・リーチなどから高い評価を受け、活気を取り戻してきた。
- 壺など大物のやきものから、次第に小物の茶器類、酒器などに多様化する他、近年ではカラフルな色彩を採用するなど、時代の変遷に敏感に対応し、暮らしに密着した日常使いの民芸品をつくり続けてきた。
- このように、伝統的なひとつの技法にとらわれず、新しい作風を積極的に取り入れ、次の世代に継承してきた姿勢は、ダイバーシティを許容し、持続可能な地域づくりへの視座を与える。







## 沼島おのころクルーズ (淡路) Onokoro Cruise in Nushima Island, Awaji

- 日本が生まれた国生み神話が息づく沼島。周囲には天の御柱・上立神岩などの奇岩や海からでしか見られない特徴ある岩礁が多くあり、島内にはおのころ神社があるほか、神話に由来する多くの場所が存在するなど、唯一性が高い地域である。
- そこで、難所が多い場所を巧みに航海する技術をもつ漁師が、地域の魅力を自ら発信するため、神話とともに周囲を巡るツアーを企画し、移住者がコーディネートを行うことに。
- このように、島の漁業関係者と移住者が協力して、本業の漁業を観光として活用し、両立することは、人口減少が続いて活力が失われていく離島において、新たな地域づくりと関係人口の増加に向けた視座を与える。

